SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カテ	非該	タイプ チェック項目	取組				3			is (17ゴール。 7 8						4 15	16 17
ゴリ	当	,エクク祭日	レベル	(来などの取特が配があれば、	125. 1444	2 :::	3 mints -W\$	4 22 cm	.	B HITTERS	7 minimum 8 minimum 8 minimum	9 =====	10 ====================================	11 12 12 ALL (2 :::: 13 : CO		15 15***	18 🔀
		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	採用、昇進、給与、福利厚生等の雇用条件で差別しない 体制を構築し、社員の雇用相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	・ハラスメントに関する社内教育を各階層(役員、従業員)で行っている ・経営トップが従業員に対して個別に定期的な面談を行っている					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・有給休暇取得率の向上を図り、年間実労働時間削減に努めている ・【予定】週に1度の割合でノー残業デイを設定する							8.5 8.8							
L		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者はいないため				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3					
人権		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	定期的な設備点検、社内清掃などを従業員で分担し行うことで、安全意識を高めると共に労働環境の整備に取り組んでいる			3				8							
· 労 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年2回、経営トップとの個人面談の機会を設定。従業員1人ひとりの心身の健康状態を把握すると共に、個々の課題改善に努めている			3											
,		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取 り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できる環境を整備するため、業務内容を 細分化し、それぞれの能力に見合った業務を担当してもらう 体制を作っている					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3					
3		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた能力開発に向け、研修体系を整備して いる ・外部セミナーの情報提供、参加の推奨をしている				4	5.5		8	9						
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働であれば雇用形態・性別・年齢によって差異が生じないよう、労働基準法を順守している ・経営トップが定期的に待遇等について不満がないかヒアリングを行う					5.5		8.5		10.2 10.3					
)		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンシ	・健康診断、健康相談、健康上の理由による休暇取得が円 消にできる勤務態勢を構築する ・【予定】ワクチン接種及び摂取後の休暇取得を推奨する			3				8							
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別を行い、可燃ゴミに関しては定量的に計測を 実施している ・プラスチック等資源にならない廃棄物はできる限り出さない よう分別と削減に努めている										11.6 1	12.4	14	.1	
!		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	省エネ法など行政の報告事項に則り、二酸化炭素係数による排出量の算出、並びに増減傾向のフィードバックを定期的に実施している							7.3					13		
3		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】エネルギー総使用量について、原単位1%/年の削減を努力目標とし、それに従い抑制に向けた諸施策計画・実行する							7.2 7.3				12.4 1	13.3		
環境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	有害化学物質に該当するものが業務上生じないため			3.9			6.3				11.6 1	12.4			
5		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	【予定】自社取り扱い製品(農産物)についてはGAPに基づいた管理をおこなう。事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、悪影響を削減する為の具体策を講じている						6.6							15	
5		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・資源の再利用を推進している ・SDGsを始め環境問題や課題について我が社の事業と結び つけて改善・検討している										1	12.5	14	.1	
,		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンシ	・一ヶ月ごと使用料を把握し、節水に努めている ・決算毎に水道費を確認、記録し、必要に応じて削減計画を 策定している						6.4 6.6								

							主な	SDGs	(17ゴ・			ーゲッ					
カテ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3	4 5	6	7	8	9	10 11	12	13	14	15	16 17
ゴリ	当	7 = 7 / % []	レベル	併せて記載してください。)	125 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 militari -W-	[] [] []	B SANCHO	7 Illet-model distribution	8 2222	\$==== &	11 = 12 A	⊘	13 identi-i.	14 ##****	15 term	#####################################
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】必要に応じた環境マネジメント規格の取得を目指す		3.9		6	7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で環境情報を公開する									12.6	i			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後は再生可能エネルギーの積極的な使用を検討 している					7.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ										12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	 汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範について整備を行い、 社員への周知を行っている													16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内浸透を図っている る													16
24 公 正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】商標について、知的財産権の取得・管理を検討して いる						8.2 8.3	9						
な事業 (1) (25)		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護についてコンプライアンス規定を整えており、業務上知り得る個人情報についても適切に管理し、保護している													16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	非該当													16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	事業パートナーの実態把握に努め、信頼できるパートナーとの み取引を実施している			5			8		10	12	13	14	15	16 17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	商品・サービス等の安全性を担保するため、想定されるリスク の洗い出しと対策を実施している		3.9							12.4				
製 29 品 ・サ		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレーム対応及び対応後の社内共有の徹底など、品質を保証する仕組みを構築している							9						
1 ビ 30 ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品の開発・設計は行っていない				6					12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	社会課題を解決するために自社が取り組むべき事項について検討し、実行している	1 2	3	4 5	6	7	8	9	10 11	12	13	14	15	16 17

								OGs (17ゴール								
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4	5	6	7 8	9	10	11	12	13	14	15	16 17
	当	7-77-	レベル	併せて記載してください。)	1 355 1/4 hri	3 minute 42min	∮*	B :8375H*	7 and a market 8 and a market 1 and	1	10 482	n letter	⊘	13 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	14 #::	16	¥ ₩
32 *+		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域企業や地域商品の活用により、地域経済の活性化を図っている		4				9)	11	12		14	15	17
地域貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	全社を挙げて積極的に地域活動に参画している		4						11			14	15	17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地域の原材料の優先的利用を促進している					8	9)	11	12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化しており、適時経営理念や経営目標を社 員に説明・周知するよう心掛けている					8	9)						17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守(コンプライアンス)について学ぶ機会を設け、コンプライアンスの重要性を全社員に向けて発信している													16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】個々の役割を認識し、責任者(担当役員)、CSR管理者を任命して対応する													16
³⁸ 組 織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	便宜ステークホルダーと対話をし、弊社の活動内容等を随時 共有することで、具体的な内容に反映している													16 17
体 39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】リスクマップ等を活用してリスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じる													16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社会的責任として、地域産業の状況を把握し、建議・陳情により意見を反映する等、社会的責任を果たす体制を整えている													16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続力強化計画を策定し、認定を受けている						9)	11		13 13.1			16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】事業承継に関する計画の策定を検討する					8	9	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 1	13 14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り 組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)